

学連に行こう

～各加盟校1年生（新2年生）へむけて～

平成29年10月吉日

1. はじめに

今年も、来年度の新学連役員選出の時期が迫ってまいりました。そこで新役員選出の対象となる1年生(新2年生)へ向けて「学生弓道連盟」について知って頂く為に、以下に学連についての説明を記載しました。学連役員の活動に少しでも興味を持って頂けたら幸いです。

2. 学連とは

学連とは「学生弓道連盟」の略称で、構成しているのは各加盟校の中から選出された学生です。現在の役員は全員あわせると24人で活動しています。

一口に学連と言っても実際には

①東京都学生弓道連盟 ②全日本学生弓道連盟

の二つが存在します。とはいえこの二つの連盟は普段は同じ事務所で協力して学連の仕事をしていますので、最初のうちは大きな違いはありません。新しく学連役員になった人は、役員になり少し経てから都学連に所属するのか全日学連に所属するのか選ぶことになります。

学連の本部は都学も全日も日本武道館にある学生武道クラブという部屋の中にあります。ここには空手・剣道・合気道・少林寺拳法の学生の連盟も同じ部屋の中にあり、実際にはその部屋の一角が学生弓道連盟のスペースとなっています。

基本的に毎年12人(男8、女4)の新役員が選出されることになっていますが、年度により多少の増減があります。実際の問題として、役員になりたいという人の(役員を出したいという大学の)数が12に少し届かないことがあり、どうしても役員が足りない場合は部員の多い大学に「なんとか役員を出してもらえないでしょうか」とお願いしなくてはならないこともあります。しかし、希望しないのに役員をしなければならなかった(実際に役員になった後で後悔している人はほとんどいないと思いますが)、という事態はなるべく避けたいと思い、みなさんが自発的に役員になりたいと思ってもらえればと、今回この文章を書いております。

3. 学連の仕事

学連の仕事は、

- ① 平常の仕事
- ② 大会時の仕事

に大きく分けることができます。

①平常の仕事

毎週月曜日と木曜日の夕方5時～9時頃が主な活動時間帯です。

全員が毎週毎時間いるわけではなく、仕事の少ない時期は事務所に来る人がまばらになることもあります。しかし、新役員には早く仕事を覚えてもらいたいので、最初のうちは出来るだけ活動時間に事務所に来てもらおうことになっています。

仕事内容については、大会の準備であったり、加盟校へ配る書類の作成であったり、加盟校から提出された書類のチェックであったりと様々です。

②大会時の仕事

学連の主催する大会等は以下のようなものがあります。

□東京都学生弓道連盟主催

新人戦、百射会、女子部記録会、全関、定時総会、リーグ戦、代々木研修会
毎月の委員会、学生弓友の発行 etc…

□全日本学生弓道連盟主催

全日(インカレ)、伊勢大会(王座・東西)、学生弓道の発行
中央委員会の開催(全国各地の学連役員が集まる) etc…

・大会時における学連役員の働き

大会の運営はすべて学生で行います。

大会進行係、記録係、放送係、的中確認・矢取り係、警備係など…多岐に渡る仕事が重なり合い、大会を成功に導くのです。前日・当日の会場設営も仕事のうちです。これらの仕事は各大学から数名出していただく手伝い役員の方々に手伝ってもらいながらこなします。

すべては「チームプレー」で成り立っています。

学連内での役職については、3年生の9月に都学・全日それぞれ

- ① 委員長②副委員長③会計④総務⑤女子部委員長⑥女子部副委員長

という役職に就きます。これは、学連の仕事の内容が多岐に渡っているため、それぞれの役職ごとに担当する仕事がある程度決まっているのです。2年生のうち3・4年生のサポートと、様々な仕事を覚えることが主な仕事です。とは言っても、もちろん大会運営なども2年生から主力で活躍してもらいます。

また任期についてですが、学連での仕事は2年生の4月に始まり、4年生の8月に終わります。

以下の表は年間を通じてのおおまかな予定を示しています。

	都学	全日
4月		
5月	女子部記録会・百射会	中央委員会
6月	全関	
7月	実業団射会	
8月		インカレ・中央委員会
9月	定時総会・リーグ戦	
10月	リーグ戦	
11月	OB 射会	伊勢大会
12月	代々木研修会	
1月		
2月		
3月	新人戦	

4. 今後の流れ

来年度の新学連役員選出までの流れについてですが、以下の段階を踏まえて例年決定しています。

- 1) 11月の委員会で各校に「学連役員選出に関するアンケート」を配布
- 2) 各校でアンケート記入→学連に提出
- 3) 学連でアンケートを集計
- 4) 12月に行われる代々木研修会の中の話し合いで、実際にどの大学から学連役員を選出するかを最終決定

そうして決まった新役員の初顔合わせは4月になります。

基本的に毎年12人(男8、女4)の新役員が選出される予定です。

5. 最後に

学連役員をやる事に関しての得られるものは大きいと、実際に活動していて感じております。学連には様々な大学から役員が出ていますので、仕事を通じて他大学に知り合いも沢山増え、それも関西や東海など全国に渡ります。また準備を通して大会の裏側を見られたり、関東・全国レベルの大きな大会の運営に関われたりすることは大変貴重な経験です。また普段の練習や生活だけでは関われないような経験を得ることができる、いつもとは違った視点で学生弓道に関わることが出来る、ということも大きな魅力です。(就活にも有利かも)!!!!

デメリットとしては、学連に入れば貴重な練習時間を多少なりとも犠牲にしなければならないのも事実です。しかし一つ言えることは、各大学で主力として活躍している学連役員も多いので、自分の努力次第では選手として役員として大会に関わることが出来る、ということです。

もちろん楽なことばかりではなく、大変な仕事も多いです。学生弓道界のために、日々頭を悩ませています。しかし最後には「役員をやって良かった」と言えるほどの充実感を覚え、また自分にとって大きな財産になるに違いないと確信しております。

この文書を読んで少しでも学連に興味を持った方、もっと詳しく学連について聞きたい方、またはわからない点や不安な点がある方は下記アドレスまで気軽にお尋ねください。やる気と責任感のある新2年生の方、お待ちしております。

togakuren.iinkai@gmail.com